

## 36 多良崎城跡緑地環境保全地域



### 1 地域指定

- (1) 指定地域 多良崎城跡周辺一帯（勝田市）
- (2) 指 定 昭和61年3月31日（茨城県告示第508号）

### 2 保全計画の概要

#### (1) 指定理由

本地域は、那珂台地東部に位置し、水田に囲まれた台地に所在する山林内に鎌倉末期から南北朝時代に築城されたといわれる多良崎城跡を中心とした区域である。館の存在していた周囲には空堀が残っており、歴史的に貴重価値を有する地域である。

森林の構成は、コナラ、アカシデ、クリ等の二次林からなり、林床にはキキョウ、リンドウ、オミナエシ、タムラソウなど日本の野草を代表する種が豊富に生育し自然状態が保たれている。またトビヤノスリの猛禽類や渡り鳥も多数確認される等、良好な自然環境を形成している。

このように、本地域は茨城県自然環境保全条例第10条第1項第2号に規定する「歴史的、文化的、社会的資産がその周辺の地域と一体となって良好な自然環境を形成している土地の区域」に該当する。

#### (2) 自然環境の概要

##### ア 植 生

コナラ、アカシデ、クリ等の自然植生と一部アカマツ林の中にヤマツツジ、ヒサカキ、ガマズミ、ヤマウルシ等が見られ、林床にはチゴユリ、シュンラン、オオバノトンボソウ、コバギボウ

シ、シラヤマギク、ヤマユリ、ヤマハギ、ワレモコソウ、リンドウ、オミナエシ、キキョウ、タムラソウなど多くの草本相が豊富に生育している。

#### イ 野生動物

広葉樹林及び周辺にコムシジ、モンキチョウ、アオスジアゲハ、モンキアゲハ、ルリタテハ等のチョウ類が多数生息している。

また、アジアイトトンボ、シオカラトンボ、コフキトンボ、アキアカネ、ノシメトンボ等のトンボや他の昆虫も多種見られる。

さらに、トビ、ノスリ、モズ、カケス、オナガ、ハクセキレイのほかに渡り鳥等も多数確認されている。

### (3) 区 域

#### ア 区域の概要

本地域は、勝田市の北東方向において、新川をはさんで東海村へと続く境界の近くに位置する多良崎城跡を中心とするまとまった森林地域である。

#### イ 位置及び区域

勝田市足崎字館の一部  
別図のとおり

#### ウ 面 積 12.90ヘクタール

#### エ 土地所有関係

単位：ヘクタール

国 有 地	公 有 地	民 有 地	合 計
0	0	12.90	12.90

(面積は、台帳面積による。)

### (4) 自然環境の保全に関する基本的な事項

本地域は多良崎城跡と呼ばれ、昔館の存在した場所で、現在アカマツの植林と、コナラ、アカシデ、クリ等の二次林から形成され、周囲に空堀等が張りめぐらされており林床には日本を代表とするオミナエシ、キキョウ、リンドウ等が植生している。

この森林と一体となった城跡は、史跡として県内では貴重なものである。

このように本地域は、史跡と一体となった良好な自然環境を形成しており、これらの動植物を維持するため、自然環境の保全を図る。

このため、保全に必要な規制は条例の定めにより行う。

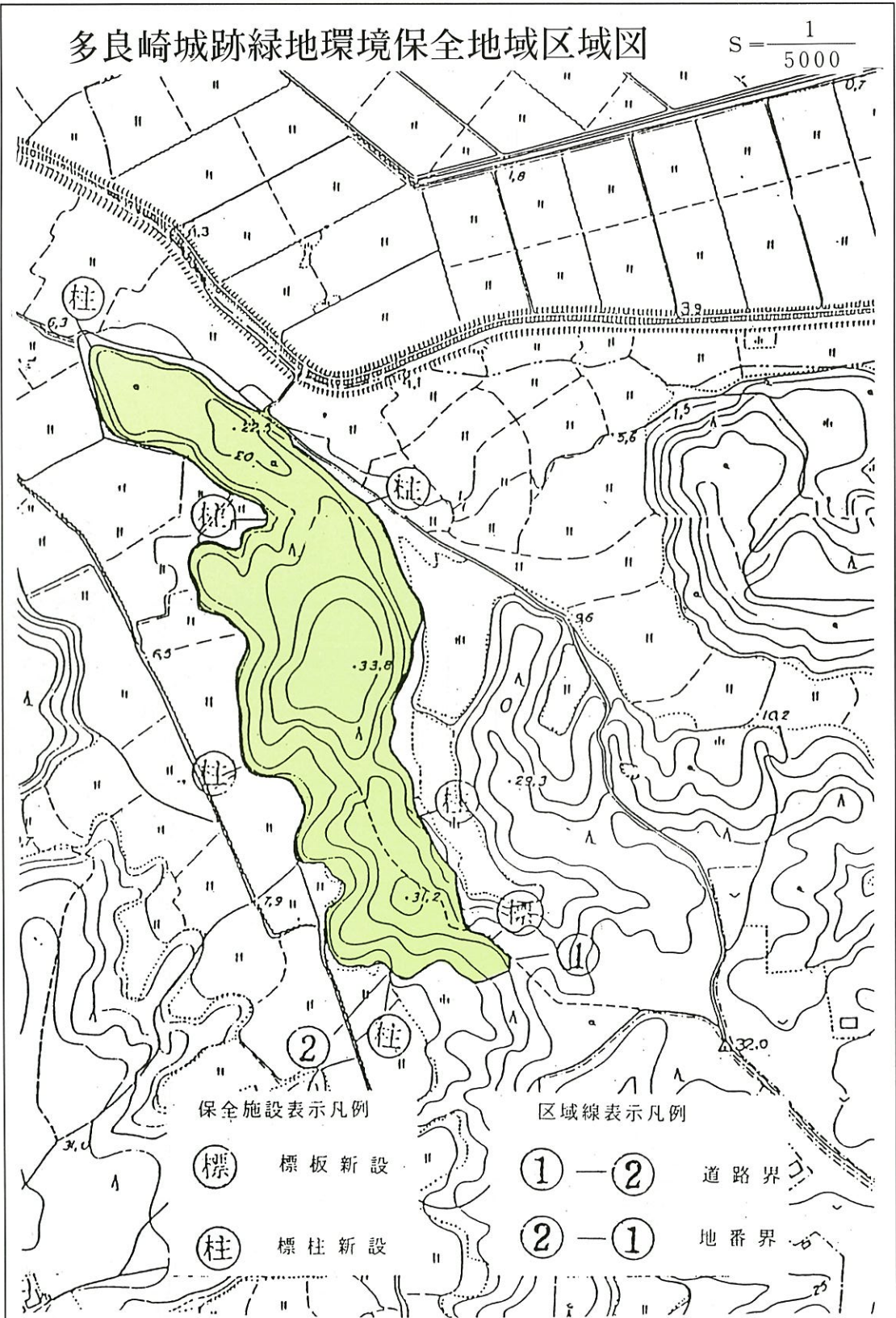
### (5) 保全施設に関する方針

巡視歩道、標識、廃棄物処理施設、植生復元施設、病虫害防除施設、給餌施設、養殖施設等必要に応じて設ける。



# 多良崎城跡緑地環境保全地域区域図

S =  $\frac{1}{5000}$



## 保全施設表示凡例

- 標 標板新設
- 柱 標柱新設

## 区域線表示凡例

- ① — ② 道路界
- ② — ① 地番界